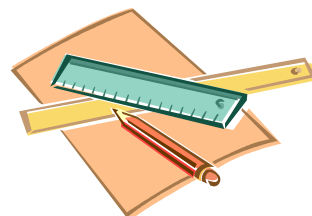


令和2年度

第2学年

『学習のしおり』



河内長野市立 西中学校

令和2年度 学習のしおり

もくじ

	教 科	頁
1	国 語	1～2
2	社 会	3～4
3	数 学	5～6
4	理 科	7～8
5	英 語	9～10
6	音 楽	11～12
7	美 術	13～14
8	技 術	15～16
9	家 庭	17～18
10	保健体育	19～20

●学習目標

○話すこと・聞くこと

目的や場面に応じて工夫して話す能力と、相手の意図や話題の方向をとらえ、積極的に会話に参加しようとする態度を育てる。

○書くこと

目的や意図に応じて文章の構成を考え、自分自身の考えや気持ちを明確に文章にしようとする態度を育てる。

○読むこと

本や文章に関心を持ち、内容を的確にとらえ、自分自身のものの見方や考え方を深めようとする態度を育てる。

○言語についての知識・技能・理解

古典を中心とした伝統的言語を理解し、その時代に生きた人々の心や考え方に触れ、古典をより身近なものとして感じる態度を育てる。

漢字などの使い方を理解し、文字の字体等に対して関心を持ち、丁寧に書く態度を育てる。また、日本語の文法的な仕組みに興味を持たせる。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 新しい国語2 東京書籍 中学書写 教育出版 副教材 よくわかる国語の学習2 明治図書 かんたん文法 秀学社 単元別漢字の学習2 明治図書 観点別評価テスト積み上げ 国語2 明治図書 中高生のための暗唱詩文集 東京教育技術研究所 活用資料集 新学社</p>	<p>持ち物</p>	<p>教科書 ノート 漢字ノート 副教材(各ワークなど)</p>
<p>学習の進め方</p>	<p>○ 漢字 漢字を丁寧に書くこと。正確な文字を理解するために、小テストを繰り返して行い、知識の定着を目指します。</p> <p>○ 音読・暗唱 詩や文の朗読や暗唱を行い、表現すること、文章のリズム(主に古典)になれることを目指します。また、聞いて理解する力を養います。</p> <p>○ 読解 内容の正確な把握を目指し、前後の文章のつながりから読み取る力を養います。文章化されていない部分も、文章化されていることを手がかりに適切に読み取ろうとする態度を育てます。</p> <p>○ 討論 友達の話や自分の話を正確に聞き取る力、自分の気持ちをより正確に表現する力を養います。</p> <p>○ 書写 正確で読みやすい字を、硬筆や毛筆で書く経験を積みみます。</p>		
<p>学習上の留意点</p>	<p>まずは授業を大切にしてください。しかし、座っているだけの受身の姿勢では、国語力は高められません。外から取り込んだ情報を自分の中で整理し、自分の気持ちや考えを持つことが大切です。そして、それを言葉(文章)にする努力が必要です。</p> <p>今、論理的に考え、自分の考えを持ち、それを自分の言葉で表現する力が重要視されています。国語の授業では論理的思考力と表現力を磨くことを最大の目的としています。「やってみよう」という前向きな姿勢で授業に参加してください。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	授業への準備 「未来へ」	中間テスト	関心・意欲・態度 ○意欲的に授業に参加している。 ○ノートにメモを取り、授業内容を整理している。 ○家庭学習を行うことができる	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物（点検）ノート・プリント・漢字ワーク等 ○定期テスト
5	敬語 「鯉節－世界に誇る伝統食」			
6	文法（動詞） 「字のない葉書」 依頼状やお礼状を書こう 「卒業ホームラン」 「短歌を楽しむ」	期末テスト	話す・聞く能力 ○人に自分の考えを伝えるための工夫をしている ○他人の話の内容を的確につかんでいる ○説得力のある話ができる ○適切な言葉と適切な声の大きさを話することができる	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物（点検）プリント等 ○暗唱テスト ○聞き取りテスト
7	短歌のリズムで表現しよう 読書感想文 テーマを立てて説明する（人権作文）	中間テスト		
9	「哲学的思考のすすめ」 文法（形容詞・形容動詞） 「枕草子」「徒然草」	期末テスト	書く能力 ○言葉を適切に使うことができる ○丁寧な文字を書いている ○論理的な文を書くことができる。	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物（点検）ノート・プリント等 ○定期テスト ○読書感想文
10	「小さな労働者」 書写「行書」			
11	「平家物語」 「歴史の物差し」「落葉松」 「漢詩」	学年末テスト	読む能力 ○表現上の工夫や、語句のまとまりを理解し、内容を理解することができる ○文章を読んで自分の意見を持つことができる	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物（点検）プリント等 ○定期テスト
12	「正しい言葉は信じられるか」 「走れメロス」			
1	文法（助詞・助動詞） 「わたしが一番きれいだったとき」		知識理解・技能 ○伝統的な言語の文化に興味を持ち、理解しようとしている ○言語表現における効果や技能を理解し、実際に使える	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物（点検）ノート・プリント・漢字練習等 ○定期テスト ○漢字テスト
2	古典芸能に親しもう			
3	論証の組み立てを捉える 視点を変えて書こう 書写②			

状況に応じて学習の順序が変わることや別の教材を用いることもあります。

教材ごとに適宜、表現活動を取り入れる予定です

●学習目標

- 社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現)
- 社会的な事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。(資料活用の技能)
- 社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。(社会的事象の知識・理解)

●学習を進めるに当たって

使用教材	「中学社会地理的分野」 帝国書院出版 「中学社会歴史的分野」 帝国書院出版 地理・歴史の資料集 地図帳 帝国書院	持ち物	教科書・ノート・資料集 地図帳・問題集 色鉛筆 (色ペン・マーカーペンも可)
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようにしておく。 ○ 発問に対して、積極的に考えてみる。 ○ 作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにする。 ○ 積極的に話し合いに参加し、自分の意見が言えるようにする。 <p>《過程学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予習・復習を大切にし、授業でやった内容を家庭で確認しておく。 ○ 授業でとった板書内容やメモを整理しておく ○ 新聞やニュースなどを見る習慣をつける。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な内容や意味をまとめて理解しておく。 ○ 授業中で行った内容をしっかりまとめ、確認しておく ○ グラフや表などの資料が読み取れ、地図を使いこなせるようにしておく。 ○ 時間内で解答できるように、時間を意識して解答に挑戦する。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持ち物を忘れずに持ってくるようにする。 ○ プリントやノートをしっかりまとめ、先生が話した内容などのメモがとれるように日頃から意識して授業にのぞむ。 ○ 聞くととき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加する。 		

●学習内容及び評価について

		学習計画		評価に当たって	
月	単元計画		試験	評価の観点	評価の場面・方法
	地理	歴史			
4	第2部日本のさまざまな地域 第3章日本の地域 ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	第4部 近世 武家政権の展開と 世界の動き	中間テスト	関心・意欲・態度 ・前向に授業に参加している。 ・発問や話し合い活動に対して積極的に参加し、考えようとしている。 ・学習プリントやノートなどを丁寧に作成し提出している。 ・マスメディアなどから情報を取り入れ、世の中のニュースをある程度認識している。	・学習態度 ・話し合い活動 ・発表 ・ノート ・ワーク学習 ・提出課題
5		第1章大航海によって結びつく世界			
6		第2章戦乱から全国統一へ	期末テスト	思考・判断・表現 ・発問に対して、きちんと考察している。 ・課題に対して、既習の知識をもとに、正しい考察の上で判断ができる。 ・課題に対して、自分の意見や考えを文章記述や発表などの言語活動を通じて表現できる。	・話し合い活動 ・意見発表 ・ノート ・学習プリント ・定期テスト ・小中テスト ・提出課題
7		第3章武士の支配の完成			
8		第4章天下泰平の世の中	中間テスト	技能 ・地図や写真、グラフなどの資料から情報を収集、選択して読み取り、いろいろな場面に利用することができる。 ・図や表を用いて提出課題にまとめることができる。	・話し合い活動 ・意見発表 ・学習プリント ・定期テスト ・小中テスト ・提出課題
9		第5章社会の変化と幕府の対策			
10		第2章 日本の地域的特色	期末テスト	知識・理解 ・各分野。各単元の学習内容を理解し、知識を身につけ、小テストや定期テストで正しく答えたり教師の問いかけに答えることができる。	・発表 ・定期テスト ・小テスト ・中テスト
11		第4章 身近な地域の調査			
12		第5部 近代国家の歩みと 国際社会	期末テスト		
1		第2章 開国と幕府の滅亡			
2		第3章 新しい価値観の下で			
3					

●学習目標

- 文字を用いた式について、計算したり変形したりする能力を養い、連立方程式について理解し用いる能力を育てる。
- 基本的な平面図形の性質について、理解を深めるとともに、数学的な推論の意味や方法を理解し、論理的に考え表現する能力を育てる。
- 一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現する能力を育てる。
- 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を育てる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書「未来へひろがる数学2」啓林館 ワーク ミニプリント 授業配布プリント	持ち物	教科書 ノート ワーク ミニファイル
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を前向きな姿勢で集中して受ける。 ・黒板に書かれた内容をしっかりとノートに書き写す。 ・積極的に発表や質問をする。 ・分からない部分はその日のうちに解決する。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習を大切にし、授業の内容を確認する。 ・学習した内容を、ワーク「わかりやすい数学2」を中心に何度も反復練習をしたり、「計算のトレーニング」の裏面の問題の考え方を理解したりするなど、解答を参考にわかりにくい所を復習する。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、ワーク、プリントをしっかりと見直す。 ・授業の内容をしっかりと確認する。 ・ワーク「わかりやすい数学2」や「計算のトレーニング」を中心に何度も反復練習をする。 ・解き方や公式を理解し、使えるようにする。 		
学習上の留意点	<p>私たちは生活の中で、いろいろな計算を使います。そして様々な活動をするときに、どの方法で取り組めば能率的に行えるだろうかということを考えます。</p> <p>また、人に何かを説明するとき、順序立てて話さないと言いたいことがうまく伝わらないこともあります。数学は計算力だけでなく、ものごとを筋道立てて考えたり、多面的に物事を見るなどの力をつけるための時間です。だから答えを出すことだけを考えるのではなく、答えを導き出す過程を大切にしてください。</p>		

●2年数学 学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	式の計算 1節式の計算	中間テスト	数学への関心・意欲・態度 ○意欲関心をもって課題に取り組んでいる。 ○ノートに授業内容を整理している。 ○家庭学習を行うことができる。	○授業観察 ○提出物 ○発言、発表 ○自己評価
5	2節文字式の利用			
6	連立方程式 1節連立方程式 2節連立方程式の利用			
7	一次関数 1節一次関数とグラフ	期末テスト	数学的な見方や考え方 ○事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考えたり説明することができる	○定期テスト ○実力テスト
8				
9	2節一次関数と方程式 3節一次関数の利用			
10	図形の調べ方 1節平行と合同 2節証明	中間テスト	数学的な技能 ○文字式の計算や方程式が解ける。 ○一次関数の関係を表、式、グラフに表すことができる。 ○図形に関する技能を身につけている。	○定期テスト ○実力テスト
11				
12	図形の性質と証明 1節三角形			
1	2節四角形	期末テスト	数量や図形などについての知識・理解 ○連立方程式、一次関数、平面図形、確率についての知識を身につけている。	○定期テスト ○実力テスト
2				
3	確率 1節確率の意味 2節確率の求め方			

●学習目標

- 自然界の様々な現象に対する関心を高めよう
- 目的意識を持って観察・実験などをおこない、科学的に調べる力をつけよう。
- 自然の事物・現象についての理解を深めよう。
- 科学的な見方や考え方を養い、自分の考えを表現する力をつけよう。

●学習を進めるに当たって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書「新編 新しい科学」東京書籍 ○ ワーク「学習の整理」学宝社 	持ち物	教科書・理科ノート 筆記用具・ワーク
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の様々な現象に興味・関心を持とう。 ○ 学習の目標をとらえ、授業は真剣に取り組もう。 ○ ノートや観察・実験レポートはわかりやすく工夫して書こう。 ○ 宿題はもちろん、自分で課題を見つけ、家庭学習をしっかりとやろう。 ○ わからないところは、自分で調べたり、誰かに質問したりして、必ず解決しよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 復習はその日のうちに行い、授業を思い出しながら、教科書・ノートなどをもう一度見直す。(わからないところはそのままにしないでどンドン質問しよう) ○ プリント、教科書のなどの問題を解いてみる。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テスト範囲は、テスト一週間前には通知します。 ○ 教科書・ノート・プリントなどをよく見直し、十分に理解しておこう。 ○ 問題練習をできるようにするまで、繰り返しやろう。 ○ 学習計画をきちんとたてて、実行していこう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ノート、ファイルなどは必ず授業が始まる前に用意しておこう。 ○ 教室での席移動・理科室への移動はチャイムの鳴る前に完了しておこう。 ○ 授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ○ 先生や発表者の話をしっかり聞こう。 ○ 実験によっては危険な薬品を使うことがあります。また、ガラス器具や危険をともしものものがあります。先生の指示がある前から器具にふれたり、勝手なことをしないこと。また、実験中もふざけないこと。 		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	1.化学変化と原子・分子 1章 物質のなり立ち	中間テスト	自然事象への関心・意欲・態	<input type="checkbox"/> 意欲、関心を持って課題に取り組む姿勢が感じられたか。 <input type="checkbox"/> 意欲的に自ら学習を進められたか。 <input type="checkbox"/> 学習した内容を身につけることができたか。	・行動観察(授業態度、発言、発表) ・提出物 ・小テストなど
5	2章 物質どうしの化学変化				
6	3章 酸素がかかわる化学変化				
6	4章 化学変化と物質の質量 5章 化学変化とその利用	期末テスト	科学的な思考・表現	<input type="checkbox"/> 疑問を解決する方法を考えた たり、観察や実験などの結果から筋道立てて考え、規則性を見つけ出し表現することができたか。 <input type="checkbox"/> 思考に関する問題を解くことができる。 <input type="checkbox"/> 記述問題にチャレンジしたり、実験結果を発表することができたか。	・発言 ・プリント ・定期テストなど
7	1.動物の生活と生物の変遷 1章 生物の細胞 2章 動物のからだのつくりとはたらき				
8 9					
10	3章 動物の分類 4章 生物の変遷と進化	中間テスト	観察・実験の技能	<input type="checkbox"/> 観察や実験の方法を正しく身につけているか。 <input type="checkbox"/> 観察や実験のレポートをわかりやすく工夫して書くことができたか。 <input type="checkbox"/> 図やグラフを工夫し作成することができたか。 <input type="checkbox"/> 観察や実験に関する問題を解くことができたか。	・行動観察 ・プリント ・定期テストなど
11	3.天気とその変化 1章 気象観測と雲のでき方				
12	2章 前線とそのまわりの天気の変化 3章 大気の動きと日本の天気				
1	4.電気の世界 1章 静電気と電流	期末テスト	自然事象についての知識・理解	<input type="checkbox"/> 自然に関するいろいろな用語の意味や観察・実験の方法などを正しく理解し、確実な知識として身につけ、適切に活用することができたか。 <input type="checkbox"/> 知識に関する問題を解くことができたか。	・プリント ・定期テストなど
2	2章 電流の性質				
3	3章 電流と磁界				

●学習目標

○英語での言語活動(インタビュー、スピーチ、ディスカッションなど)やグループ・ペア活動に積極的に参加し、他者とのコミュニケーションを大事にする姿勢を身につける。

○「読む・書く・話す・聞く」を日常的に反復し、自分を表現する力を身につける。

○異文化に触れることで広い視野をもち、興味をもって学習に取り組めるようになる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 Sunshine 授業配布プリント 指定の副教材	持ち物	教科書 ノート2冊 (ワイドノート・練習ノート) ワーク
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの力をバランスよく身につけましょう。 ・実際に英語を使って、積極的にコミュニケーションをとるようにしましょう。 ・外国の文化にも興味を持ちましょう。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、継続して、学習する習慣をつけましょう。 ・日常的に「単語練習」「本文の音読」を行い、最終的には「書ける」ようになりましょう。 ・授業で習った内容を、その日のうちに、ワークや、練習ノートで復習しましょう。 ・学校では学校の授業で行えることのみ行いますので、それを補う家庭学習はととても大切です。日々の宿題、復習に取り組みましょう。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、ワークをしっかり見直しましょう。 ・発音と綴りの関係を意識し、声に出しながら単語を書いて覚えましょう。 ・教科書の基本文を暗唱できるようにしましょう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておきましょう。 ・ネイティブや先生の発音をしっかり聞き、英語の発音を意識しましょう。 ・まちがいを恐れず、活動には積極的に参加し、分からないところは班の仲間に聞けるような、積極的な姿勢を身につけましょう。 ・提出物の提出期限は必ず守りましょう。 		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	一般動詞の過去形(不規則動詞)、be動詞の過去形	期末テスト	関心・意欲・態度 ○授業中、積極的に発表しているか ○発表 (内容/発音/声の大きさ/発表態度)	授業態度 パフォーマンステスト (スピーチ、チャット、プレゼンテーション、インタビュー、ミニディベートなど) 提出物
5	過去進行形			
6	未来の文			
7	助動詞 must、have to	実力テスト	表現 ○既習単語・文法を用いて、自分について表現できるか (長さ/内容/幅広い単語の使用) ○感情をこめて、音読できるか (発音/発表態度)	英作文 定期テスト 実力テスト (英作文など) パフォーマンステスト
8	接続詞 that			
9	電話の対話	中間テスト	理解 ○英文を読み、内容を理解できるか ○英文を聞き、質問や内容を理解し、適切に応じることができるか	定期テスト 実力テスト (長文読解、リスニング) パフォーマンステスト
10	スキット作り			
11	There is / are ~.の文	期末テスト	言語・文化の知識・理解 ○単語・文法・文構造を正しく用いる知識を身につけているか	定期テスト 実力テスト (語彙・文法など)
12	接続詞 when if			
1	買い物での会話			
2	to不定詞	期末テスト	言語・文化の知識・理解 ○単語・文法・文構造を正しく用いる知識を身につけているか	定期テスト 実力テスト (語彙・文法など)
3	インタビュー記事を書く			
4	動名詞			
5	SVC、SVOO の文	期末テスト	言語・文化の知識・理解 ○単語・文法・文構造を正しく用いる知識を身につけているか	定期テスト 実力テスト (語彙・文法など)
6	道案内			
7	スピーチ			
8	読み物教材	期末テスト	言語・文化の知識・理解 ○単語・文法・文構造を正しく用いる知識を身につけているか	定期テスト 実力テスト (語彙・文法など)
9	読み物教材			
10	比較の文(-er、-est)			
11	比較の文(more~, most~) (better、the best)	期末テスト	言語・文化の知識・理解 ○単語・文法・文構造を正しく用いる知識を身につけているか	定期テスト 実力テスト (語彙・文法など)
12	賛成・反対意見を言う			
1	受け身の文			
2	スピーチ	期末テスト	言語・文化の知識・理解 ○単語・文法・文構造を正しく用いる知識を身につけているか	定期テスト 実力テスト (語彙・文法など)
3	読み物			
4	読み物教材	期末テスト	言語・文化の知識・理解 ○単語・文法・文構造を正しく用いる知識を身につけているか	定期テスト 実力テスト (語彙・文法など)
5	読み物教材			

●学習目標

<p>○音や音楽への興味・関心を養い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。</p> <p>○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、様々な鑑賞を通して音楽の良さや多様性を感じ取る。</p> <p>○豊かな音楽活動をめざし、基礎的な表現(歌唱・器楽・創作)の技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を高める。</p> <p>○多様な音楽を味わい、そのよさや美しさを感じることで、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。</p>
--

●学習を進めるに当たって

使用教材	<p>教科書 音楽のおくりもの2・3上 (教育出版)</p> <p>音楽のおくりもの2・3下 (教育出版)</p> <p>中学生の器楽(教育出版)</p>	持ち物	<p>教科書</p> <p>アルトリコーダー</p> <p>音楽ノート</p> <p>音楽ファイル</p>
学習の進め方	<p>[豊かな学力を身につけよう]</p> <p>○興味・関心をもって授業に臨む。</p> <p>○授業の準備をきちんとする。(忘れ物をしない)</p> <p>○話をよく聞き、意欲的に練習や活動に参加する。</p> <p>○授業の中で学習した曲について、意見や感想を持つようにする。</p> <p>[家庭学習]</p> <p>○実技の練習(リコーダー)を行うように指導する。</p> <p>[定期テスト]</p> <p>○実技テストは基本として授業時間内に行う。</p> <p>○毎回の授業での活動や練習を大切にする。</p> <p>○定期テストは每学期行う。授業内容をしっかりと理解すること。</p> <p>○定期テストの中で、聞き取りテストを行う。</p>		
学習上の留意点	<p>基礎的な声の出し方や楽器奏法の技能や表現を学ぶことで、積極的に表現をしようとする意欲を高め、互いの個性を認め合い、共に表現する楽しさや喜びを感じよう。また、「音」はすぐに消えてしまう1回限りのものであることを理解し、美しいハーモニーを作る為に、集中して「聴く」態度を心掛ける。一人ではできない合唱をみんなと協力して取り組み、のびのびと表現できる雰囲気を作る。「合唱」「器楽」そして「鑑賞」などを通して、音楽に対する感性を身に付け、音楽のもつ美しさ、素晴らしさを感じとり意欲的に取り組む。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	●合唱の楽しさを知ろう	期末テスト	関心・意欲・態度 ○積極的に「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」に取り組むことができたか。 ○曲想を味わい、イメージを持って聴く学習に関心をもち、主体的に取り組もうとしているか。	歌唱 器楽 ワークシート 定期テスト
5	●鑑賞 フーガのおもしろさを味わおう			
6	●楽典 速度や強弱を覚えよう			
7	●アルトリコーダー	期末テスト	音楽表現の創意工夫 ○歌詞の内容や曲想を感じ取りながらどのように表現したらよいか自分なりの思いや意図を持っているか。 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解してどのように音楽表現するかについて思いや意図を持っているか。	歌唱 器楽 ワークシート 定期テスト 実技テスト
9	●詩の内容と曲想の変化を感じ取り、強弱の変化を工夫して表現しよう			
10		期末テスト	音楽表現の技能 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、表現を工夫して歌っているか。 ○楽器の特徴をとらえ正しい奏法を身につけて表現しているか。 ○曲想にふさわしい歌い方で表現しているか。	歌唱 器楽 定期テスト 実技テスト
11	●鑑賞 日本の伝統音楽に親しもう			
12	●アルトリコーダー			
1	●歌詞のまとまりやフレーズを生かして歌おう	期末テスト	鑑賞の能力 ○曲の構成やオーケストラの音色に関心をもちながら、全体を味わって聴いているか。 ○日本の音楽や和楽器の音色の特徴を感じ取って聴くことができているか。 ○さまざまな音楽の背景にある文化や歴史を総合的に理解し聴くことができているか。	ワークシート 定期テスト
2	●鑑賞 曲のしぐみに注目して名曲を楽しもう			
3	●アルトリコーダー ●卒業式に向けて			

●学習目標

- 自ら進んで美術の活動に取り組み、美術を愛好する心を培い、うるおいのある心豊かな生活を創造する意欲を高めよう。
- 対象を深く見つめて感性や想像力を一層高め、独創的な見方や考え方を培おう。
- 自分のねらいに応じた構想や表現方法を工夫し、見通しを持って表現する力を伸ばそう。
- 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深めよう。
- 心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう力を高めよう。

●学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 美術2・3上 学びの深まり 美術2・3下 出会いと広がり (日本文教出版) 副教材 美術資料 (秀学社)	持ち物	教科書 美術資料 スケッチブック デザインセット 筆記用具
学習の進め方	<p>[確かな学力を身につけよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいをしっかりとらえ、目標をもって授業に臨もう。 <p><表現活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想力・計画的な構想力のもと試行錯誤をしながらも粘り強く取り組み、達成感や充実感を味わおう。 <p><鑑賞活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品などに対して自分の価値意識を持って味わい、自身の意見や感想をしっかりと持とう。 <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレビや新聞・インターネットなどで美術関連の番組や記事などに興味・関心を持とう。 ○美術館や博物館で本物に触れる機会をつくろう。 ○自分の作品を飾るなどして、生活の中に活かそう。 <p>[定期テスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期テストは每学期行う。 ○授業内で行うテストについての説明をしっかりと理解すること。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイム着席を守ろう。 ○授業に必要なものを忘れないようにしよう。 ○説明をしっかりと聞き、授業のねらいをとらえ、発想を広げよう。 ○創意工夫をして粘り強く取り組み、達成感を味わおう。 ○後片付けは責任をもってきちんとしよう。 ○配布した資料等は、スケッチブックに貼り付け、整理しておこう。 		

●学習内容及び評価について（2学年 美術科）

学習計画		評価にあたって					
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法			
4	オリエンテーション	期末テスト	関心・意欲・態度 ○意欲的に授業に参加している。 ○作品制作や鑑賞の力を高めるために、楽しく主体的に取り組んでいる。 ○学習内容をまとめ、整理している。	授業態度(観察) ワークシート 練習課題 提出物の状況 定期テスト			
5	「ゲルニカ」は語る ・時代や社会と美術						
6	情報をわかりやすく伝えよう ・単純化や強調された形や色						
7	魅力が伝わるパッケージ ・形体や装飾を工夫しよう						
8	アニメーションの表現						
9	刻まれた祈り						
10	イメージを形で表現しよう ・抽象彫刻が持つ魅力						
11	漫画表現の豊かさ ・動き時間気持ち物語の表現				期末テスト	発想や構想の能力 ○感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的に発想することができる。 ○形や色彩の構成などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想を練ることができる。	アイデアスケッチ 作品
12	共同制作の魅力 ・学び合う楽しさ						
1	光と影の空間演出 ・陰影や照明の効果を生かして表そう						
2	墨が生み出す豊かな世界 ・さまざまな墨の表現を学び、表そう	期末テスト	創造的な技能 ○感性や造形感覚を働かせ、材料や用具の特性を生かし、新たな表現方法を工夫している。 ○自分の意図に応じて制作順序などを総合的に考えたりするなど、創意工夫して創造的に表している。	制作の様子 作品 定期テスト			
3	日本美術の展開						
		学年末テスト	鑑賞の能力 ○感性や想像力を働かせ、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取っている。 ○美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めている。	調べ学習 ワークシート 定期テスト			

●学習目標

〇ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

生物育成に関する技術

(1)生物の育成環境と育成技術について

- ・生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。
- ・生物育成に関する記述の適切な評価・活用について考える。

(2)生物育成に関する技術を利用した栽培について

- ・目的とする植物の育成計画を立て、栽培ができる。

エネルギー変換に関する技術

(1)エネルギー変換機器の仕組みと保守点検について

- ・エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る。
- ・機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができる。
- ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考える。

(2)エネルギー変換に関する技術を利用した作製品の設計・製作について

- ・製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができる。
- ・製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検ができること。

情報に関する技術

(1)情報通信ネットワークについて

- ・コンピュータの構成と基本的な情報処理のしくみを知る。
- ・情報通信ネットワークにおける基本的な情報の利用のしくみを知る。

●学習を進めるに当たって

教 使 材 用	教科書 「技術・家庭 技術分野」 開隆堂	持 ち 物	教科書 ・ ノートファイル 筆記用具
学 習 の 進 め 方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>〇説明はしっかりきこう。</p> <p>〇何事もじっくり考え、自分にできる精一杯の努力をしよう。</p> <p>〇わからないところ、できていないところを明確にし、学習・実習に取り組もう。</p> <p>〇出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持とう。</p> <p>〇実習中は、・安全第一に取り組もう。・説明中は静かにしよう。・マナーを守ろう。</p> <p>《家庭学習》</p> <p>〇学校で習ったことを家で活用し、実践してみよう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>〇学習したことをしっかり復習し、テストに臨もう。</p>		
点 学 習 上 の 留 意	<p>〇忘れ物をしない。</p> <p>〇提出物は期限を守り、きちんと仕上げて提出しよう。</p> <p>〇実習においては、目的と方法を理解し、安全を第一に取り組もう。</p> <p>〇グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行おう。</p> <p>〇生活の中で活用できるように工夫しよう。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	<u>生物の育成に関する技術</u> ・私たちの生活と生物育成 ・生物の育成 ・作物の栽培 ・動物の飼育 ・水産生物の栽培 ・栽培技術と環境 ・栽培実習 ・生物の育成に関する技術の評価・活用	試験 期末テスト 期末テスト 学年末テスト	関心・意欲・態度 ・作物に適した生育条件のあり方に関心を持ち、自己の考えを積極的に表現している。 ・身の回りのエネルギーに関心を持ち、エネルギーの変換方法やその利用について考えようとしている。	行動観察 ノートファイル プリント	
5					
6					
7			工夫・創造 ・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。 ・製作品が目的の動きをしない場合にその原因を追究し、製作品の検討及び修正をしている	行動観察 ノートファイル 定期テストなど	
8					
9					
10			<u>エネルギー変換に関する技術</u> ・私たちの生活とエネルギー ・電気エネルギーの利用	技能 ・作物の栽培に関する生育環境を、生育状態に合わせた適切な管理作業をしている。 ・安全を踏まえた製作品の組立て・調整や、電気回路の配線ができる。 ・保守点検と事故防止ができる。	行動観察 ノートファイル 製作品 定期テストなど
11			・動力の利用 ・エネルギー変換の実際		
12			・製作品の構想と設計 ・電気実習	知識・理解 ・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。 ・生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 ・エネルギーがどのような方法で変換、制御され、利用されているか理解している。 ・エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。	定期テストなど
1	・エネルギー変換に関する技術の評価・活用				
2	<u>情報に関する技術</u> ・情報とわたしたちの生活 ・情報通信ネットワークの利用				
3	・コンピュータと情報処理 ・デジタル作品の設計と制作				

●学習目標

○生徒の生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活に関わる基礎的・基本的な知識及び技術を習得することによって、生活の自立を目指し、家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度を育てる。

食生活と自立

- ・生活の中で食事が果たす役割や健康と食事の関わりについて考える。
- ・日常食の調理に関心を持ち、いろいろな食品や調理器具を適切に扱い、簡単な日常食の調理ができるようになる。

身近な消費生活と環境

自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂	持ち物	教科書 ノート プリント エプロン、三角巾、フキン
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>○説明はしっかりききましょう。</p> <p>○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の努力をしましょう。</p> <p>○わからないところ、できていないところを明確にして、学習・実習をしましょう。</p> <p>○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持ちましょう。</p> <p>○各実習においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全第一に取り組みましょう。 ・説明中は静かにしましょう。 ・清潔にしましょう。 ・マナーを守りましょう。 <p>《家庭学習》</p> <p>○学校で習ったことを家で実践していきましょう。</p> <p>○家庭では、進んでお手伝いをし、家族の一員としての役割を果たしましょう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>○授業中に学習したことをしっかり復習しましょう。</p>		
学習上の留意点	<p>○忘れ物をしない。</p> <p>○提出物は期限を守り、きちんと提出しましょう。</p> <p>○くれぐれも安全を第一に実習を行いましょう。</p> <p>○実習においては、目的と方法を理解して取り組みましょう。</p> <p>○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行いましょう。</p> <p>○便利なものを利用したり、生活をよりよく工夫していきましょう。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって				
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法		
4	<u>食生活と自立</u> 1 健康と食生活 ・中学生に必要な栄養 ・食品と栄養素 ・献立の作り方 2 食品の選択と保存 ・生鮮食品と加工食品 ・食品の表示 3 調理をしよう 調理実習1 4 調理の基本 調理実習2 <u>消費生活と環境</u> ・家庭生活と消費 ・商品の選択と購入 ・よりよい消費生活のために ・環境に配慮した生活	期末テスト	関心・意欲・態度 ・中学生の食生活と栄養について関心を持っている。 ・日常食の献立と食品の選び方について関心をもっている。 ・日常食の調理と地域の食文化について関心をもっている。 ・消費生活に関心をもっている。	行動観察 ノート プリント		
5			思考・判断・表現 ・中学生の食生活と栄養について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。 ・日常食の献立と食品の選び方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。 ・消費生活を点検し、安全・安心の視点も含め、環境に配慮した消費生活について工夫している。	行動観察 ノート プリント		
6				知識・理解 ・中学生の食生活と栄養について理解している。 ・日常食の献立と食品の選び方について理解している。 ・地域の食文化の意義について理解している。 ・販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資サービスの適切な選択、購入および活用ができる。	定期テスト	
7						技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。
8			技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。			
9				技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。	プリント 行動観察	
10		技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。				プリント 行動観察
11			技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。			
12				技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。	プリント 行動観察	
1		技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。				プリント 行動観察
2			技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。			
3				技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。	プリント 行動観察	
	技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。	プリント 行動観察				
			技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。			プリント 行動観察
				技能 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。	プリント 行動観察	

●学習目標

<p>*心身の調和のとれた発達を促し、生涯を通じて健康で明るい生活ができるようになる。</p> <p>○運動の合理的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>○知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようになる。</p> <p>○運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。</p> <p>○運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を高める。</p> <p>○健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を身につける。</p>

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 新中学保健体育[学研] 副読本・副教材 ステップアップ中学体育[大修館] 中学保健体育の学習②</p>	<p>持ち物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・半袖、ハーフパンツ ・ジャージ上下 ・単元で必要なもの（水着など） ・保健体育のノート
<p>学習の進め方</p>	<p>(確かな学力を身につけよう)</p> <p>○体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる領域での運動能力の向上を図るとともに生涯を通じて自分のできるスポーツが選択できるようにしよう。 ・仲間と協力して互いに励まし合いながら課題に挑戦しよう。 ・ルールやマナーを守り安全な環境で運動を楽しもう。 <p>○保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と環境、傷害の防止について理解し、生涯を通じて健康に生きることを意識する力をつけよう。 <p>○家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身に付ける。 <p>○定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろより授業中の説明や資料の解説、などを整理しておこう。(ノート) ・テスト範囲のお知らせプリントで内容を確認してしっかり勉強しよう。 		
<p>学習上の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣を済ませ準備や整列をし、始業チャイムであいさつを始められるようにする。 ・準備や片付けは、協力して行おう。 ・積極的に授業に参加をし、運動量を増やそう。 ・できる、できない理由を考えて運動を行う。 ・苦手な種目でもあきらめないで挑戦しよう。 ・目標に向かって努力をしよう。 ・授業中の説明や話はしっかり聞き、ノートや資料に書き込むようにしよう。 ・保健の分野では準備物の忘れ物をせず、先生の話をしっかり聞き、常に自分のことに置き換えて、考えるようにしよう。 		

●学習内容及び評価について(2年)

		学習計画		評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	・集団行動 体づくり運動 ・新体力テスト	健康な生活と病気の予防	関心・意欲・態度	・運動量を多くしているか。 ・安全に気を配り、準備や片付けを協力して行えているか。	・授業中の活動量(観察) ・仲間への声かけ、指示(観察)
5	・走り高跳び(男子) ・跳び箱、平均台(女子)			・早く更衣をすませ活動場所に来ているか。 ・それぞれの単元に意欲を持って取り組んでいるか。	・授業中の発言、発表の様子(観察) ・出席率(参加率)、忘れ物や見学の有無
6	・跳び箱(男子) ・走り高跳び(女子)			・体の健康に注意し、活動に参加しているか。 ・仲間とともに運動を楽しめているか。	
7	・水泳(男子 女子)	傷害の防止	思考・判断・表現	・自分の目標を持つことができているか。 ・仲間とともにアドバイスの交換ができているか。 ・自分やチームを振り返り、課題や改善点等がノートに明確に書かれているか。	・授業中のミーティングなど(観察) ・個人ノートの内容 ・授業中の発言(観察)
8	・体育大会練習 ・陸上(短距離走)				
9	・ソフトボール(男子) ・バレーボール(女子)				
10	・バレーボール(男子) ・ソフトボール(女子)	期末テスト	技能	・個人的スポーツでは、記録の向上が図れる。 ・集団的スポーツでは、組織的なプレイができるようになる。 ・ダンスでは、動きを覚え、楽しく踊ることができる。	・授業での活動 ・実技テスト
11	・長距離走(男子 女子)				
12					
1	・ハンドボール(男子) ・ダンス(女子) ・体育理論	スポーツの効果と安全	知識・理解	・各単元でのルールや用語を理解できているか。 ・運動の特性を理解しているか。	・学期末テスト
2	・ダンス(男子)				
3	・ハンドボール(女子)				
					学年末テスト